

日本語普及事業に必要な経費

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費

- (1) 指導的日本語教師の養成（日本語教育指導者）
- (2) 指導的日本語教師の養成（海外日本語教師上級研修）
- (3) 海外日本語教師研修（長期）
- (4) 海外日本語教師研修（短期）
- (5) 海外日本語教師研修（国別）
- (6) 受託研修（日本語国際センター）
- (7) 受託研修（日本語国際センター）〔アセアン〕
- (8) 受託研修（日本語国際センター）〔サーク〕

2. 制作事業費

- (1) 日本語教材・教授法等開発・普及
- (2) 図書館運営（日本語国際センター）

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 / (1) 指導的日本語教師の養成（日本語教育指導者）

海外の日本語教育機関等の現職日本語教師もしくは日本語教授経験者を対象として、政策研究大学院大学との連携により、1年間で博士前期課程(修士)、3年間で博士後期課程(博士)を修了するものであり、各国における日本語教育指導者の養成を目的とする。

合計額 32,800,957 円

| | 事業名 | 所属国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------------------------|--|----------------------------|-------------------------|---|
| 1 | 日本語文化研究プログラム (平成18年度博士課程) | インド | 1 | 2007.03.26 ~ 2010.07.31 | 海外の日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、指導的な日本語教育分野関連での研究者、教師、及びその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成する。政策研究大学院大学と連携して運営する3年間の博士課程（日本語文化研究プログラム）に、ナビン・クマール・パンダ(PANDA, Nabin Kumar : デリー大学)第4期生が参加 |
| 2 | 日本語文化研究プログラム (平成19年度博士課程) | モンゴル | 1 | 2007.09.27 ~ 2010.09.26 | 海外の日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、指導的な日本語教育分野関連での研究者、教師、及びその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成する。政策研究大学院大学と連携して運営する3年間の博士課程（日本語文化研究プログラム）に、ウラムバヤル・ツェツェグドラム(ULAMBAYAR, Tsetsegdulam : モンゴル国立科学技術大学)第5期生が参加 |
| 3 | 日本語文化研究プログラム (平成20年度博士課程) | インドネシア | 1 | 2008.09.25 ~ 2011.09.30 | 海外の日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、指導的な日本語教育分野関連での研究者、教師、及びその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成する。政策研究大学院大学と連携して運営する3年間の博士課程（日本語文化研究プログラム）に、ナヨアン・フランキー・レイモンド(NAJOAN, Franky Reymond : マナド国立大学)第6期生が参加 |
| 4 | 日本語文化研究プログラム (平成21年度博士課程) | 中国 | 1 | 2009.09.29 ~ 2012.09.29 | 海外の日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、指導的な日本語教育分野関連での研究者、教師、及びその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成する。政策研究大学院大学と連携して運営する3年間の博士課程（日本語文化研究プログラム）に、張勇(ZHANG, Yong : 揚州大学外国語学院)第7期生が参加 |
| 5 | 日本語教育指導者養成プログラム (平成21年度修士課程) | 中国 モンゴル ベトナム インド アゼルバイジャン ロシア | 2 1 2 1 1 1 | 2009.09.24 ~ 2010.09.20 | 海外の現職日本語教師もしくは日本語教授経験者を対象として、各国の日本語教育における将来の指導的教師の養成を目的とする。政策研究大学院大学と連携して運営する1年間の修士課程（日本語教育指導者養成プログラム）。平成21年度は、6カ国より8名を招へい |

附属機関日本語国際センター事業費

| 事業名 | 所属国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|-----------------------------------|-------|----|-----------------------------|--|
| 6 日本語文化研究プログラム (平成22年度博士課程) | ベトナム | 1 | 2010. 10. 01 ~ 2013. 09. 30 | 海外の日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、指導的な日本語教育分野関連での研究者、教師、及びその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成する。政策研究大学院大学と連携して運営する3年間の博士課程（日本語文化研究プログラム）に、グエン・ソン・ラン・アイン(NGUYEN, Song Lan Anh : ハノイ大学) 第8期生が参加 |
| 7 日本語教育指導者養成プログラム (平成22年度修士課程) | 中国 | 1 | 2010. 09. 30 ~ 2011. 09. 30 | 海外の現職日本語教師もしくは日本語教授経験者を対象として、各国の日本語教育における将来の指導的教師の養成を目的とする。政策研究大学院大学と連携して運営する1年間の修士課程（日本語教育指導者養成プログラム）。平成22年度は、6カ国より6名を招へい |
| | モンゴル | 1 | | |
| | ミャンマー | 1 | | |
| | スリランカ | 1 | | |
| | パラグアイ | 1 | | |
| | キルギス | 1 | | |

1. 研修事業費 / (2) 指導的日本語教師の養成（海外日本語教師上級研修）

より高度な専門知識、技能を求め、日本語教育実践において実現・解決したい具体的な課題を有する海外日本語教師を2カ月間招へいし、自立的な問題解決能力の育成を図ることを目的とする。

合計額 3,478,337 円

| 事業名 | 所属国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|---------------|-------|----|-----------------------------|---|
| 1 海外日本語教師上級研修 | 韓国 | 1 | 2010. 05. 26 ~ 2010. 07. 23 | 高度な専門知識や技能を必要とし、かつ各国・地域の日本語教育基盤整備のための日本語教材制作、教授法、カリキュラム開発等の課題や解決したい問題点を具体的に有する者を対象に自立的な問題解決能力の育成を図ることを目的とした集中研修。5カ国から8名を招へい |
| | 中国 | 3 | | |
| | マレーシア | 2 | | |
| | イタリア | 1 | | |
| | チェコ | 1 | | |

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 / (3) 海外日本語教師研修 (長期)

海外の中・高等教育機関等の日本語教師養成を図るため、日本語教授経験の比較的少ない教師及び日本語教師となることが既に決まっている者を約6カ月間招へいし、日本語運用能力の向上と基礎的な日本語教授法の研修を行う。

合計額 65,100,569 円

| | 事業名 | 所属国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------|----------|----|-------------------------|---|
| 1 | 海外日本語教師長期研修 | 中国 | 1 | 2010.09.15 ~ 2011.03.11 | 33カ国、53名の外国人若手日本語教師を約6カ月間招へいし、日本語運用能力の向上を図るとともに、教授活動、日本事情等を学習するための集中研修を実施 |
| | | モンゴル | 2 | | |
| | | インドネシア | 5 | | |
| | | カンボジア | 1 | | |
| | | タイ | 2 | | |
| | | フィリピン | 2 | | |
| | | ベトナム | 4 | | |
| | | マレーシア | 1 | | |
| | | ミャンマー | 1 | | |
| | | ラオス | 1 | | |
| | | インド | 4 | | |
| | | スリランカ | 2 | | |
| | | ネパール | 1 | | |
| | | オーストラリア | 1 | | |
| | | トンガ | 1 | | |
| | | エルサルバドル | 1 | | |
| | | キューバ | 1 | | |
| | | メキシコ | 1 | | |
| | | コロンビア | 1 | | |
| | | チリ | 1 | | |
| | | ブラジル | 3 | | |
| | | アゼルバイジャン | 1 | | |

附属機関日本語国際センター事業費

| 事業名 | 所属国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|-----|---------|----|----|------|
| | ウクライナ | 1 | | |
| | ウズベキスタン | 1 | | |
| | カザフスタン | 1 | | |
| | キルギス | 1 | | |
| | タジキスタン | 1 | | |
| | ハンガリー | 1 | | |
| | ブルガリア | 1 | | |
| | ベラルーシ | 1 | | |
| | ロシア | 5 | | |
| | シリア | 1 | | |
| | ケニア | 1 | | |

1. 研修事業費 / (4) 海外日本語教師研修 (短期)

海外の初・中・高等教育機関等の日本語教師の教授能力向上を図るため、日本語教師を2カ月間招へいし、日本語と日本語教授法及び日本事情の集中研修を実施する。

合計額 63,372,549 円

| 事業名 | 所属国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|--------------------|---------|----|-------------------------|--|
| 1 海外日本語教師短期研修 (春期) | モンゴル | 1 | 2010.05.12 ~ 2010.07.02 | 日本語教師として2年以上の経験を持つ外国人日本語教師8カ国21名を2カ月間日本に招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を実施。海外日本語教師研修(国別)プログラムによる「マレーシア中等教育日本語教師研修」と合同で実施 |
| | インドネシア | 8 | | |
| | タイ | 5 | | |
| | ベトナム | 2 | | |
| | スリランカ | 2 | | |
| | バングラデシュ | 1 | | |
| | オーストラリア | 1 | | |
| | ブラジル | 1 | | |

附属機関日本語国際センター事業費

| | 事業名 | 所属国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------------|----------|----|-----------------------------|---|
| 2 | 海外日本語教師短期研修 (夏期) | 中国 | 1 | 2010. 07. 14 ~ 2010. 09. 03 | 日本語教師として2年以上の経験を持つ外国人日本語教師31カ国から51名の日本語教師を2カ月間日本に招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を実施 |
| | | モンゴル | 1 | | |
| | | インドネシア | 1 | | |
| | | タイ | 4 | | |
| | | フィリピン | 1 | | |
| | | ベトナム | 3 | | |
| | | ミャンマー | 1 | | |
| | | インド | 5 | | |
| | | ネパール | 2 | | |
| | | バングラデシュ | 1 | | |
| | | ニュージーランド | 1 | | |
| | | カナダ | 1 | | |
| | | 米国 | 1 | | |
| | | メキシコ | 1 | | |
| | | ブラジル | 3 | | |
| | | ベネズエラ | 1 | | |
| | | 英国 | 2 | | |
| | | ギリシャ | 1 | | |
| | | スペイン | 1 | | |
| | | ドイツ | 1 | | |
| | | アルメニア | 1 | | |
| | | ウクライナ | 1 | | |
| | | ウズベキスタン | 2 | | |
| | | カザフスタン | 1 | | |
| | | セルビア | 1 | | |

附属機関日本語国際センター事業費

| 事業名 | 所属国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|-----------------------|---------|----|-------------------------|--|
| | ポーランド | 1 | | |
| | ルーマニア | 1 | | |
| | ロシア | 7 | | |
| | イラン | 1 | | |
| | トルコ | 1 | | |
| | マダガスカル | 1 | | |
| 3 海外日本語教師短期研修 (冬期) | モンゴル | 2 | 2011.01.26 ~ 2011.03.18 | 日本語教師として2年以上の経験を持つ外国人日本語教師18カ国31名を2カ月間日本に招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を実施。受託研修（日本語国際センター）プログラムによる「台湾日本語教師短期研修」と合同で実施 |
| | インドネシア | 1 | | |
| | カンボジア | 1 | | |
| | フィリピン | 2 | | |
| | ベトナム | 2 | | |
| | ミャンマー | 1 | | |
| | インド | 4 | | |
| | スリランカ | 1 | | |
| | ネパール | 1 | | |
| | オーストラリア | 2 | | |
| | メキシコ | 1 | | |
| | ブラジル | 1 | | |
| | ベルギー | 1 | | |
| | ウクライナ | 2 | | |
| | キルギス | 2 | | |
| | タジキスタン | 1 | | |
| | チェコ | 1 | | |
| | ロシア | 5 | | |

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 / (5) 海外日本語教師研修 (国別)

当該国政府（教育省など）、国際交流基金海外拠点、在外公館等から推薦を受けた日本語教師を対象に、国・地域別に現地事情や現地のニーズに応じたカリキュラムを編成し、研修を行う。

合計額 59,855,260 円

| | 事業名 | 所属国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------------|--------|----|-------------------------|--|
| 1 | 大韓民国中等教育日本語教師研修 | 韓国 | 55 | 2010.07.28 ~ 2010.08.27 | 韓国政府教育部が選抜した中等教育機関の日本語教師55名を約1カ月間招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を実施 |
| 2 | 中国大学日本語教師研修 | 中国 | 40 | 2010.09.28 ~ 2010.11.18 | 中国の大学等高等教育機関の日本語教師40名を約2カ月間招へいし、現状とニーズに即した日本語、日本語教授法、日本事情の集中研修を実施 |
| 3 | 中国中等学校日本語教師研修 | 中国 | 20 | 2011.01.26 ~ 2011.03.18 | 中国の中等教育機関の日本語教師20名を約2カ月間招へいし、現状とニーズに即した日本語、日本語教授法、日本事情の集中研修を実施 |
| 4 | インドネシア中等教育日本語教師研修 | インドネシア | 20 | 2010.04.14 ~ 2010.06.04 | インドネシア教育省から推薦された中等教育機関の日本語教師20名を約2カ月間日本に招へいし、日本語力向上と日本事情の集中研修を実施 |
| 5 | タイ日本語教師会研修 | タイ | 21 | 2010.04.04 ~ 2010.04.20 | タイ国日本語日本文化教師協会（JTAT）との共催で実施する日本語教師研修。同協会に所属する若手日本語教師21名に対し、教材収集・文化体験等の研修を実施 |
| 6 | マレーシア中等教育日本語教師研修 | マレーシア | 7 | 2010.05.12 ~ 2010.07.02 | マレーシア教育省が実施している「中等教育日本語教師研修」の参加者7名を日本に招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する約2カ月間の研修を行う。「海外日本語教師短期研修（春期）」と合同で実施 |
| 7 | 米国日本語教師研修 | 米国 | 20 | 2010.06.18 ~ 2010.07.18 | 全米日本語教師会連合（AATJ）と共催で、米国の初・中等、高等教育機関で日本語教育に従事している日本語教師20名を対象に、米国内の日本語教育状況に合わせた4週間の研修を実施 |

1. 研修事業費 / (6) 受託研修 (日本語国際センター)

国際交流基金の業務趣旨に合致する日本語研修事業を外部から受託し実施する。

合計額 2,024,456 円

| | 事業名 | 所属国・地域 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|------------------------|--------|----|-------------------------|---|
| 1 | 日本語教材日中共同会議 | 中国 | 4 | 2011.01.07 ~ 2011.01.20 | 北京日本学研究中心が実施する日本語教材日中共同会議への協力 |
| 2 | 日露交流センター日本語教師派遣事業赴任前研修 | 日本 | 20 | 2010.08.01 ~ 2010.08.11 | 日露青年交流センターが主催する日本語教師派遣事業で派遣される日本人教師の派遣前研修の一部を日本語国際センターで実施 |
| 3 | 台湾日本語教師短期研修 | 台湾 | 2 | 2011.01.26 ~ 2011.03.23 | 財団法人交流協会より受託事業として、台湾の日本語教師2名に対する2カ月間の訪日研修を「平成22年度海外日本語教師短期研修（冬期）」と合同で実施 |

附属機関日本語国際センター事業費

| 事業名 | 所属国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|------------------------|-------|----|-----------------------------|---|
| 4 海外児童日本体験プログラム | モンゴル | 1 | 2010. 09. 11 ~ 2010. 09. 19 | 博報堂が設立した財団法人博報児童教育振興会の受託を受け、同財団が実施する『世界のこども日本語ネットワーク推進事業』に協力。平成22年度は海外児童日本体験プログラムを実施（9カ国9名） |
| | タイ | 1 | | |
| | マレーシア | 1 | | |
| | ベトナム | 1 | | |
| | インド | 1 | | |
| | スリランカ | 1 | | |
| | ハンガリー | 1 | | |
| | ロシア | 1 | | |
| | ルーマニア | 1 | | |
| 5 ロシア初中等教育日本語教師招聘プログラム | ロシア | 12 | 2010. 12. 06 ~ 2010. 12. 17 | 日露青年交流センターが主催するロシア人若手日本語教師短期研修を日本語国際センターで受託し実施 |

1. 研修事業費 / (7) 受託研修（日本語国際センター）〔アセアン〕

国際交流基金の業務趣旨に合致する日本語教師研修事業を外部から受託し実施する。

合計額 21,775,278 円

| 事業名 | 所属国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|-------------------------|--------|----|-----------------------------|---|
| 1 東アジア若手日本語教師特別招へいプログラム | インドネシア | 5 | 2010. 05. 27 ~ 2010. 07. 21 | 東アジア首脳会議（EAS）加盟国にある日本語教育の拠点機関等から若手日本語教師を招へいし、日本語教育の普及および促進の担い手となる人材育成を行うプログラム。「21世紀東アジア青少年大交流計画（JENESYS Programme）」の一環として実施（9カ国34名） |
| | カンボジア | 2 | | |
| | タイ | 7 | | |
| | フィリピン | 3 | | |
| | ベトナム | 6 | | |
| | マレーシア | 6 | | |
| | ミャンマー | 2 | | |
| | ラオス | 1 | | |
| | インド | 2 | | |

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 / (8) 受託研修 (日本語国際センター) [サーク]

国際交流基金の業務趣旨に合致する日本語教師研修事業を外部から受託し実施する。

合計額 13,061,738 円

| | 事業名 | 所属国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------------------|--|-----------------------|-------------------------|---|
| 1 | 南アジア若手日本語教師特別招へいプログラム | インド スリランカ ネパール バングラデシュ モルディブ | 4 6 5 2 1 | 2011.01.16 ~ 2011.03.12 | 南アジア地域協力連合 (South Asian Association for Regional Cooperation : SAARC) 諸国にある日本語教育の拠点機関等から若手日本語教師を招へいし、日本語教育の普及および促進の担い手となる人材育成を行うプログラム。「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として実施 (5カ国18名) |

附属機関日本語国際センター事業費

2. 制作事業費 / (1) 日本語教材・教授法等開発・普及

日本語学習の多様なニーズに対応すべく、教育の現場で必要とされている教材、教授法等を開発・普及する事業。具体的には、「JF日本語教育スタンダード」の開発・普及、インターネットを利用した日本語教材・情報提供、各種日本語教材の開発・提供等を実施。

合計額 118,272,779 円

| | 事業名 | 対象国 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------------------|---------|-------------------------|--|
| 1 | JF日本語教育スタンダード | 全世界区分困難 | 2010.04.01 ~ 2011.03.31 | 日本語の教え方、学び方、学習成果の評価の仕方を考えるためのツール「JF日本語教育スタンダード」(以下、JFスタンダード)を冊子『JF日本語教育スタンダード2010』として2010年7月に刊行。国際交流基金が「外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠」を参考として独自に開発したJF Can-doを新規に169個『みんなの「Can-do」サイト』に格納し、累計格納数は342個(A1~B2レベル)。JFスタンダードに関連する国内外セミナー・研修会・共同研究等20件実施 |
| 2 | JF日本語教育スタンダード教材制作 | 全世界区分困難 | 2010.04.01 ~ 2011.03.31 | JFスタンダードの理念(「相互理解のための日本語」)を日本語教育の現場に反映させるにあたり、特に開発主体である国際交流基金の現場でJFスタンダードをどう適用していくか、具体的な実践のモデルを示すために準拠教材(コースブック)を開発した。本年度に制作した教材は、JFスタンダードが示す6つのレベルのうち、最も初歩のA1レベル(入門レベル)で、刊行予定は2011年5月。教材は、試用版として国際交流基金の海外拠点における直営講座で試用した後に、市販に供される予定 |
| 3 | 『みんなの教材サイト』 | 全世界区分困難 | 2010.04.01 ~ 2011.03.31 | 主に海外で活動する日本語教師の教材作成を支援するウェブサイト「みんなの教材サイト」の運営。本年度は、読解素材の追加、ユーザーからの新規素材アイデア投稿のリスト化、ユーザーからの各素材へのコメントのリスト化、教材用素材の編集機能の開発、ユーザーからの問い合わせ管理機能の開発を実施。利用者数約6万2千名、年間総アクセス数(ページビュー)約491万件(平成22年度末現在) |
| 4 | 日本語映像教材『エリンが挑戦!にほんごできます。』 | 全世界区分困難 | 2010.04.01 ~ 2011.03.31 | 『エリンが挑戦!にほんごできます。』のテレビ放映について、国内ではNHK教育テレビ、海外ではNHKワールドおよびNHKワールド・プレミアム、テレビジャパンを通じて放映を行った(これらの放映は、平成22年度末で終了)。また各国のテレビ局との放映契約に基づいて、平成22年度末時点で10カ国13の放送局で放映を実施。株式会社凡人社から出版した『DVDで学ぶ日本語「エリンが挑戦!にほんごできます。」』の各巻累計販売部数は、Vol.1:14,209冊、Vol.2:8,372冊、Vol.3:7,702冊 |
| 5 | WEB版『エリンが挑戦!にほんごできます。』 | 全世界区分困難 | 2010.04.01 ~ 2011.03.31 | 2010年3月に日本語版を公開後、4月に英語版も追加公開した。平成22年度末時点での累計ページビュー数は約335万。さらに、日本語学習者の裾野を広げ、本サイトユーザーを増やすことを目的として、新たにスペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語版の追加制作を行い、平成23年5月より公開 |

附属機関日本語国際センター事業費

| | 事業名 | 対象国 | 期間 | 事業内容 |
|----|--------------------------|---------|-------------------------|---|
| 6 | 『日本語教育通信』 | 全世界区分困難 | 2010.04.01 ~ 2011.03.31 | 海外の日本語教師を主な対象として、教材情報、授業のアイデア、日本事情や国内外の日本語教師による日本語教育情報等、最新で実用性の高い世界の日本語教育情報をウェブサイト上で提供した。日本語を母語としない教師の視点から授業や教授上のアイデアを提供する「授業のヒント」や「文法を楽しく」などのコーナーには、海外で教えている日本語教師から「興味深いポイントを取り上げてくれ参考になった」「使い方の違いが分析してあり楽しみに読んでいた」などの反響があった。平成22年度の総アクセス数は約17万件 |
| 7 | 『国際交流基金日本語教育紀要』 | 全世界区分困難 | 2010.04.01 ~ 2011.03.31 | 国際交流基金の日本語教育事業に従事する日本語教育専門員、海外派遣日本語専門家、職員等が執筆した研究論文、実践報告等を掲載した論集。平成22年度は、第7号（950部）を発行し、国内外の日本語教育機関等に配布するとともに、基金ホームページ上にて公開 |
| 8 | 教授法教材『国際交流基金 日本語教授法シリーズ』 | 全世界区分困難 | 2010.04.01 ~ 2011.03.31 | 平成22年度は、既刊の8巻に続いて、『日本事情・日本文化を教える』、『書くことを教える』、『教え方を改善する』の3巻を刊行。また、同シリーズの普及を進めるための一環として、同シリーズを利用した研修会等（平成22年度は国内計8回（ボランティア講座も含めて10回）、海外計2回）からの要請に応じ、日本語国際センター専任講師を派遣した |
| 9 | 『基礎日本語学習辞典』（アラビア語版） | 全世界区分困難 | 2010.04.01 ~ 2011.03.31 | 平成16年から制作支援を行ってきたアラビア語版が平成22年7月にエジプトの出版社シュルーク社から刊行された。平成22年度末時点で、全16言語版が世界各国・地域で出版された |
| 10 | 『教科書を作ろう』 | 全世界区分困難 | 2010.04.01 ~ 2011.03.31 | 海外における中等教育段階の日本語教材開発を支援するための素材集。日本語版・英語版の配布及び在庫管理を実施。平成22年度は24機関に配布した |

附属機関日本語国際センター事業費

2. 制作事業費 / (2) 図書館運営 (日本語国際センター)

日本語国際センターが招へいする海外の日本語教師など、内外の日本語教育関係者の教育研究活動のための専門図書館として、資料を収集・整理し、閲覧・貸出し・レファレンスなどの各種図書館サービスを提供。

合計額 17,333,693 円

| | 事業名 | 事業内容 |
|---|-------|---|
| 1 | 図書館運営 | <p>国内外における日本語教育の促進を目的として、日本語教科書・教材をはじめ、日本語教育、日本語、言語学、日本事情、外国語教育に関する資料や情報を収集・提供する専門図書館の運営</p> <p>①所蔵資料合計 (視聴覚資料を含む) : 47,362点+720タイトル (内訳: 図書 39,183点、視聴覚資料 6,668点、電子形態資料758点、絵教材326点、マイクロ資料 427点) (内訳: 雑誌・紀要・ニューズレター709タイトル、新聞11紙)</p> <p>②利用者数 (年間) : 19,744名 ③貸出点数 (年間) : 14,234点 ④レファレンス件数 (年間) : 1,750件</p> |